

二三一二番

我が袖わそでに あられたばしる 巻き隠まかくし 消けたずて  
あらむ 妹いもが見みむため

二三一三番

あしひきの 山やまかも高たかき 巻向まきむくの 崖きしの小松こまつに  
み雪降ゆきふり来る

二三一四番

巻向まきむくの 檜原ひのはらもいまだ 雲居くもゐねば 小松こまつが末うれゆ  
沫雪あわゆき流ながる

二三一五番

あしひきの 山路やまぢも知らず 白檀しらかしの 枝えだもとをを  
に 雪ゆきの降ふれれば